

Genie®

操作説明書
安全説明付き

Runabout™

First Edition
Fourth Printing
Part No. 72129JA

重 要

本機械を操作する前に、操作説明書の中の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。トレーニングを受け認定された担当者のみ機械を操作することが許されています。本説明書は機械の一部とみなされ、常に機械と一緒に置かれていなければなりません。質問の際は、 Genie Industries までご連絡ください。

目 次

	頁
安全	1
説明	8
操作	9
操作前の点検	11
安全確認	13
機能テスト	15
作業場の点検	19
操作手順	20
輸送手順	24
床位置での積載	25
ステッカー	26
仕様	28

連 絡 先 :

インターネット : http://www.genielift.com
E-mail : techpub@genieind.com

Copyright © 2000 by Genie Industries

初版 : 初回印刷 2000年 8月
第２版 2000年 9月
第３版 2001年 2月
第４版 2001年 3月

「Genie」は米国 Genie Industries およびその他の国における登録商標です。「Ｒｕｎａｂｏｕｔ」と「GR」は Genie Industries の商標です。

♻ 再生紙使用L

Printed in U.S.A.

安全規則



危険

死亡事故や大けがにつながりますので、本説明書の操作指示と安全規則に従ってください。

以下の場合を除いて操作は行わないでください：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。

1 危険な状態を避けている。

次のセクションに進む前に、安全規則を知り、理解する。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用している。

☑ 下記をよく読み、理解し、従っている：

製品使用説明書と安全規則 － 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカー

従業員の安全規則と作業場所の規制

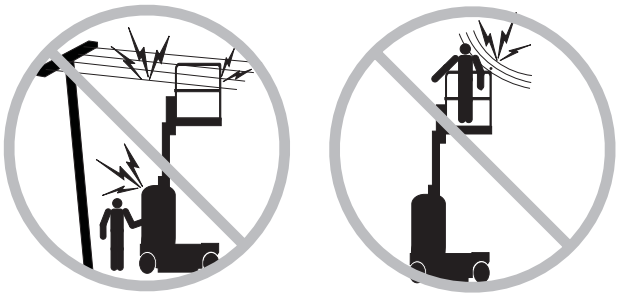
適用する行政の規則

☑ 安全な機械操作のための適切なトレーニングを受けている。

安全規則

感電の危険

この機械の電気は絶縁**されていない**ため、電流に接触したり近づいた場合危険です。



適用する行政の規制および次の図に従って、電線や機械から安全な距離を保ってください。

電圧範囲	安全上の最小の接近距離 メートル
0 ～ 300V	接触を避けてください。
300V ～ 50KV	3.05
50KV ～ 200KV	4.60
200KV ～ 350KV	6.10
350KV ～ 500KV	7.62
500KV ～ 750KV	10.67
750KV ～ 1000KV	13.72

作業台の動きや電線の揺れ・たわみを考慮にいれ、強風・突風に注意してください。

機械が通電している電線に接触している場合、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、通電している電線の電気が止められるまで機械に触れたり操作しないでください。

雷や暴風のときは機械を操作しないでください。

機械にアースを接地しないでください。

転倒の危険

作業員と装備の重量は、作業台最大積載荷重量もしくは作業台延長部の最大積載重量を超えることはできません。作業場トレー内の重量は、作業台総積載重量の一部分です。

最大積載重量 ― GR-8/GR-12	
作業台収縮時	227 kg
作業台伸長時 ― 作業台のみ 作業台伸長時 ― 延長部のみ	113 kg 113 kg
作業場トレー	22 kg
最大作業員数	1



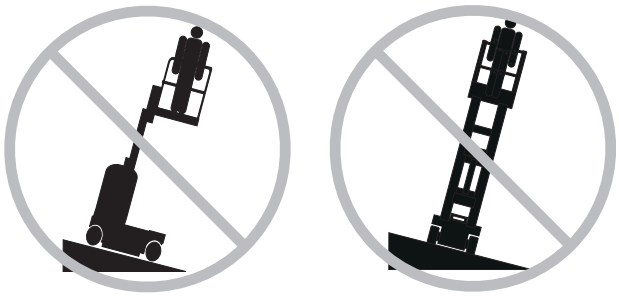
227 kg　延長部のみ 113 kg　作業台のみ 113 kg

最大積載重量 ― GR-15	
作業台収縮時	227 kg
作業台伸長時 ― 作業台のみ 作業台伸長時 ― 延長部のみ	45 kg 113 kg
作業場トレー	22 kg
最大作業員数	1



159 kg　延長部のみ 113 kg　作業台のみ 45 kg

機械を固い水平な地面に設置している場合以外は作業台を伸長しないでください。



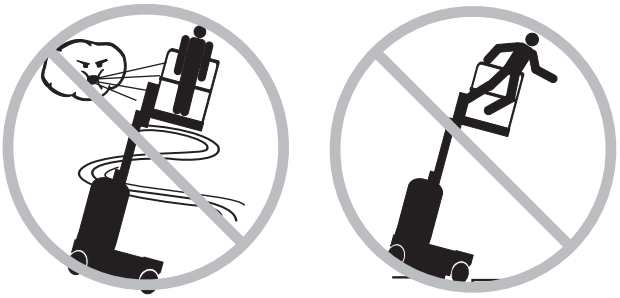
傾斜アラームを傾斜表示器として使用しないでください。傾斜アラームは機械が斜面にある場合にのみ鳴ります。

もし傾斜アラームが鳴った場合：
作業台を下げてください。機械を固い水平な地面に移動してください。作業台の上昇中に傾斜アラームが鳴った場合、細心の注意をはらって作業台を下げてください。

リミットスイッチを変更したり、使用不能にしたりしないでください。

作業台が上昇した状態では時速 0.8 km 以上で走行しないでください。

強風や突風の中で機械を操作しないでください。作業台の表面や積載床面を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が減少します。



水平でない不安定な地面、もしくは作業台を上げるには危険な他の状態、またはその近辺では、機械を走行しないでください。

収納された位置から、平らでない、障害物のある、安定していない、または滑りやすい場所を通って機械を走行しているとき、またくぼみや積降し位置の近辺で機械を走行しているときは、細心の注意をはらうとともに、機械を減速してください。

何かの間に挟まったか引っ掛かった、もしくは近くの建造物によって通常の運行を妨げられた作業台を解放する目的で、作業台操作を使用しないでください。地上操作を使用して作業台を解放する前に、すべての作業員は作業台から移動しなければなりません。

作業台の外の物体を押したり、引っ張ったりしないでください。



最大外圧力	
ANSI/CSA	445 N
CE	200 N

安全性と安定性に何らかの影響をあたえるため、機械の部品を改造したり使用不能にしないでください。

高所作業台を変更したり改造しないでください。道具を収納するための留め具や他の用具を作業台に取り付けると、踏み板もしくは手摺りのシステムが作業台、作業台の表面もしくは積載床面をの重量を増大させます。

安全規則

機械の安全性に大きく関わる部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

本機械のどの部分にも、固定されたもしくは突き出した荷を置いたり付けたりしないでください。





作業台にはしごや足場を置かないでください。また本機械のどの部分にも立てかけないでください。

機械を、動いているか移動可能な面、もしくは車両上で使用しないでください。

すべてのタイヤの状態が良好で、溝付きナットが適切に締められ、コッターピンが正確に取り付けられていることを確認してください。

バッテリーは本来装備されていたものよりも軽いものを使用しないでください。バッテリーは釣合おもりとして使用されているため、機械の安定性の維持に大きくかかわっています。それぞれのバッテリーの重量は 28 kg でなければいけません。

機械をクレーンとして使用しないでください。

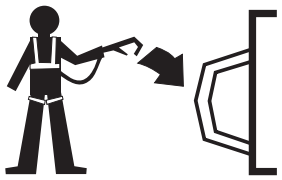
機械や他の物体を作業台と一緒に押して動かさないでください。

近くにある建造物と作業台を接触させないでください。

作業台を近くにある建造物につながないでください。

作業台パリメーターからはみだして荷を載せないでください。

落下の危険



作業員は安全ベルトやハーネスを着用し、適用する行政の規制に従わなければなりません。荷締めを作業台の錨に取り付けてください。

作業台の手摺りに座ったり、立ったり、上ったりしないでください。作業台の上では常に堅固な足場を保ってください。





作業台の上昇中は作業台から降りないでください。

物の破片を作業台のそばに置かないでください。

操作前に、作業台の中間レールを下げるか、もしくは作業台の出入口ゲートを閉めてください。

衝突の危険



走行または操作中は、視界の限度や死角に留意してください。

機械を移動しているときは延長作業台の位置に注意してください。

機械の作業時には、従業員は認可されたヘルメットを着用してください。

作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないかどうかチェックしてください。





作業台手摺りをつかんでいるときは、手にケガをしないよう注意してください。

作業台操作にある色別された方向矢印と、走行・ステアリング機能のためのステッカープレートをよく見て操作してください。

機械の操作時は、無謀な走行をしたり、むやみに騒いだりしないでください。

作業台の下に人がいないか、また障害物になるものがないか必ず確かめてから、作業台を下げてください。

地面の状態、まわりの混雑の具合、傾斜、人の位置、また他の衝突の要因となるものに注意して走行速度を制限してください。

あらゆるクレーンもしくは頭上を移動する機械装置の軌道上では、クレーンの制御がロックがされ、さらに（もしくは）衝突を防ぐための予防措置がとられていない限り、機械を操作しないでください。

破砕の危険

地上からコントローラーを使って機械を操作するときは、常識的な判断と手順をもって行ってください。オペレータ、機械、固定されたものの間は安全な距離を保ってください。

部品の損傷の危険

機械にアースを接地しないでください。

爆発と火災の危険

危険な場所や、可燃性または爆発性ガスもしくは微粒子が存在する場所では、機械を操作したりバッテリーを替えたりしないでください。

安全規則

機械の故障の危険

故障や誤作動している機械は使用しないでください。

機器の操作前の点検を完全に行い、シフトの前にすべての機能をテストしてください。故障している機械は直ちに故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。

本説明書と該当するサービスマニュアルに記載されているすべての安全事項を必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読めるかどうかを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、読める状態で、作業台の上のマニュアル保管場所に置かれているようにしてください。

人体への傷害の危険

オイルや空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油の漏れは、皮膚に飛び散ったりやけどを負わせたりすることがあります。

ステッカーの説明

Genie 製品ステッカーは識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、合図表記語を使用しています。

安全警報信号－作業員にケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡事故の危険を避けるためにすべての安全警告に従ってください。

⚠ 危険 赤－差し迫った危険があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷を負ったり死亡事故の原因になります。

⚠ 警告 オレンジ－危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷を負ったり死亡事故の原因になります。

⚠ 要注意 安全上の警告シンボルを伴った黄色－危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は小さなケガから中程度のケガを負うことがあります。

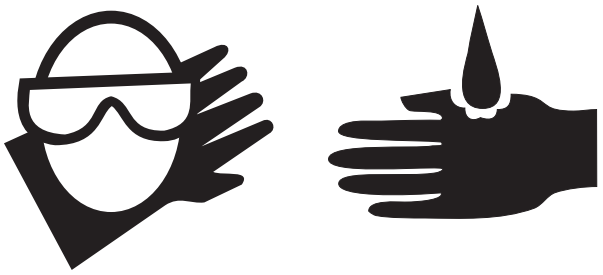
要注意 安全上の警告シンボルがない黄色－危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は機械が故障することがあります。

注意 緑－操作情報または安全情報を示します。

バッテリーの安全

熱傷の危険

バッテリーには酸が入っています。常に保護服と保護メガネを着用してください。



バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れないようにしてください。バッテリーの酸がこぼれた場合は重曹と水を使って中性にします。

充電中はバッテリーまたは充電器を水や雨にさらさないでください。

爆発の危険



火花、炎、火のついたタバコなどを近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放ちます。

バッテリートレーは、充電のすべてのサイクルが終了するまで開けておいてください。

バッテリー端子やケーブルの留め金を、火花を放つ可能性のある道具と接触させないでください。

部品の損傷の危険

充電には 24 ボルト以上の充電器を使用しないでください。

感電の危険



充電器を接地された AC３ピンコンセントにのみ接続してください。

コード、ケーブル、ワイヤが破損していないかどうか毎日検査してください。破損しているものは操作の前に取り替えてください。

バッテリー端子との接触による感電を避けてください。指輪、時計、その他の貴金属を全て外してください。

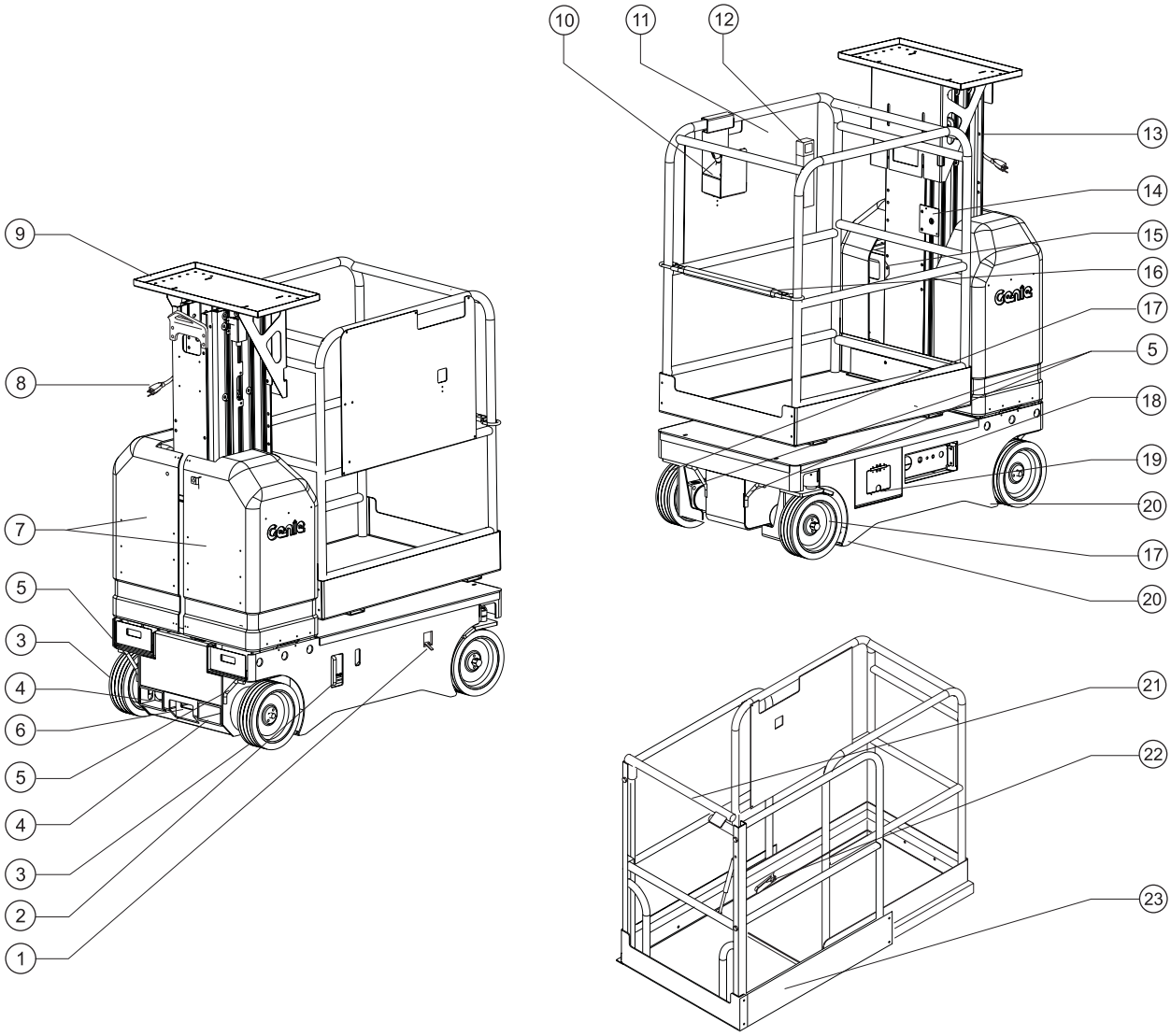
転倒の危険

バッテリーは本来装備されていたものよりも軽いものを使用しないでください。バッテリーは釣合おもりとして使用されているため、機械の安定性の維持に大きくかかわっています。それぞれのバッテリーの重量は 28 kg でなければいけません。

持ち上げる危険

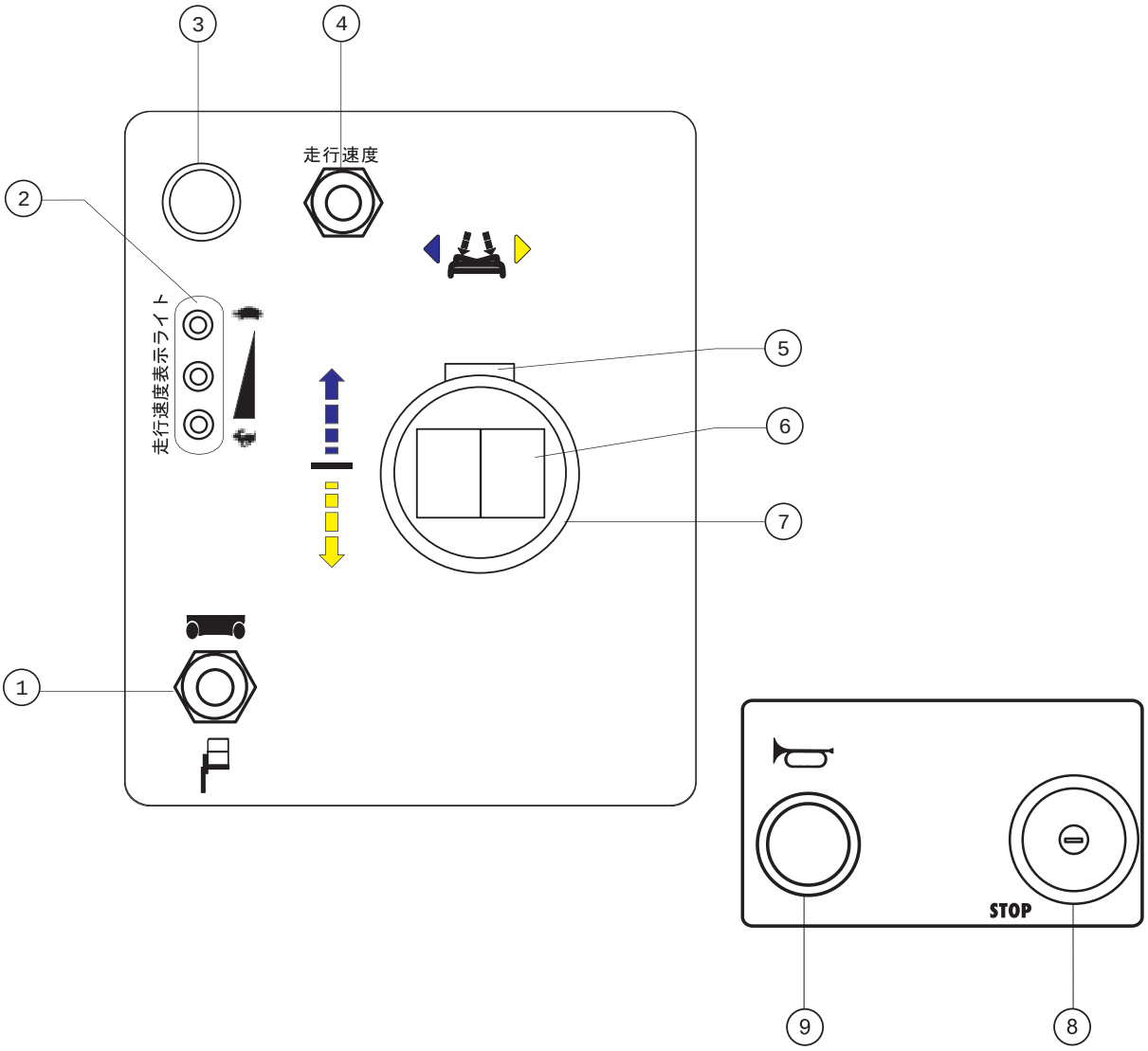
バッテリーを持ち上げるときは、適当な人数により適切な手段で行ってください。

説明



1 ブレーキ解除スイッチ
2 作動油量表示器
3 非ステアリングのタイヤ
4 フォークリフトポケット
5 輸送荷締機
6 手動下降バルブ
7 バッテリーカバー
8 オプションの充電器もしくは変換機用に、作業台・バッテリー連結部へ電力を供給
9 作業場トレー
10 作業台操作
11 ステッカーの説明
12 マニュアル保管場所
13 マスト
14 GFCI 出力
15 荷締め用箇所
16 作業台手摺り出入口
17 ステアリングタイヤ
18 地上操作
19 充電器連結、もしくはオプションの充電器または変換機
20 ポットホール・ガード（固定）
21 作業台延長部出入口
22 作業台延長解除ペダル
23 作業台延長部（オプション）

操作



ジョイスティックコントローラー

1 リフト／走行セレクト・トグルスイッチ（機械によって、位置が異なる場合があります。）

2 走行速度表示ライト（装備されている場合）

3 走行速度ボタン（装備されている場合）

4 走行速度トグルスイッチ（装備されている場合）

5 機能スイッチ

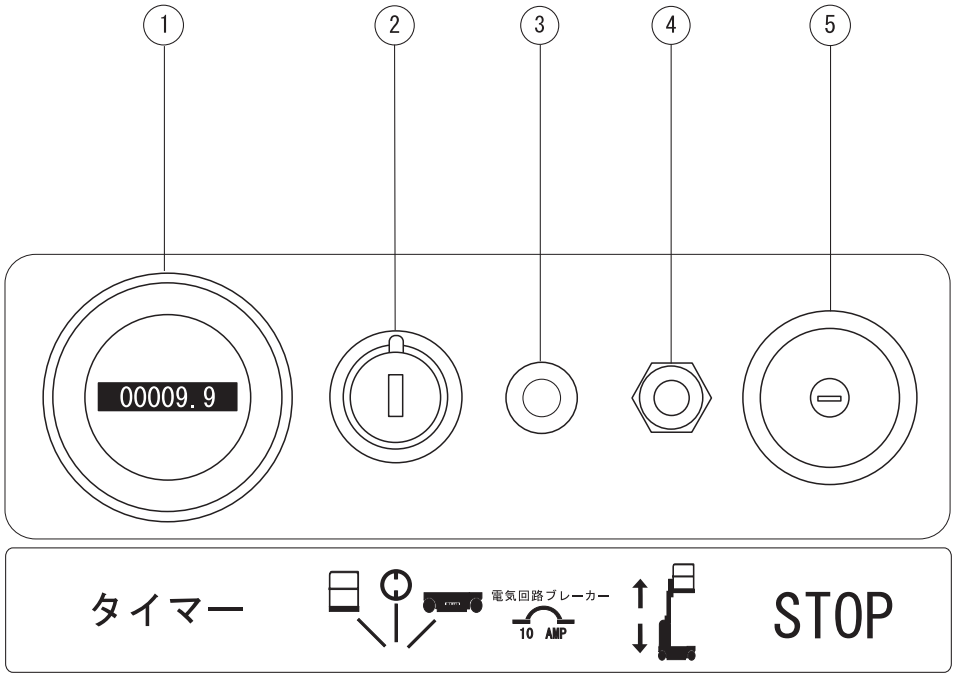
6 ステアリング機能用ロッカー

7 リフトおよび走行機能用比例制御ハンドル

8 非常停止ボタン

9 ホーン（オプション）

操作



地上操作パネル

1　タイマー
2　作業台／OFF／地上　セレクトキースイッチ
3　10A 電気回路ブレーカー
4　作業台上下トグルスイッチ
5　非常停止ボタン

操作前の点検



以下の場合を除いて操作は行わないでください：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。

1 危険な状態での使用を避けている。

2 常に操作前の点検を行っている。

次のセクションに移る前に作業前の点検をよく理解している。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用している。

原 則

操作前の点検と規定の安全確認作業はオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、シフトの前にオペレータが目で行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、機械を目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定の安全処置が必要かどうかを決めます。この説明書に記載してある規定の安全確認項目のみオペレータによって行えます。

次ページのリストで、部品が交換されていないか、損傷部品や、緩んでいたり欠けている部品がないかをチェックしてください。

故障もしくは改造した機械は決して使用しないでください。もし、工場からの輸送状態によって損傷もしくは何らかの異変が発見されたら、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づき行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前にここでも操作前の点検を行ってください。

定期的な安全点検は認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

操作前の点検

操作前の点検

- ❑ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されているようにしてください。
- ❑ すべてのステッカーは、文字が読める状態で、所定の位置にあるか確認してください。ステッカーのセクションを参照してください。
- ❑ オイルの漏れと適した量をチェックしてください。必要であればオイルを足してください。安全確認のセクションを参照してください。
- ❑ バッテリー液の漏れと、適した量をチェックしてください。必要であれば蒸留水をいれてください。安全確認のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷している、変更されている、また、きちんと設置されていなかったりなくなっている部品がないかどうかをチェックしてください。

- ❑ 電気部品、配線、電気ケーブル
- ❑ 油圧ユニット、タンク、ホース、フィッティング、シリンダー、マニフォールド
- ❑ バッテリーパックと接続
- ❑ 駆動モーター
- ❑ 磨耗板
- ❑ タイヤとホイール
- ❑ リミット・スイッチ、警報
- ❑ ナット、ボルト、他の締め具
- ❑ 作業台出入口チェイン、または扉
- ❑ シークエンスケーブルと滑車
- ❑ 作業台延長部（ついている場合）
- ❑ マスト柱とカウンターウェイト
- ❑ 作業台操作ジョイスティック

機械全体をとおして下記をチェックしてください：

- ❑ 溶接や機械部品の割れ
- ❑ 機械のへこみと故障
- ❑ 機械を構成しているすべての部品が欠けておらず、適合するファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態にしてください。

安全確認



必ず従うこと：

☑ オペレータはこの説明書に記載されている、通常の安全確認のみ行います。

☑ 定期安全確認点検は、認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

安全確認記号の説明

注意 下のシンボルは、指示の意図を伝えるために使用されています。安全確認手順のはじめに１つ以上のシンボルがあらわれる場合は、次の意味を伝えています。



この操作を行うために、道具が必要です。



この操作を行うために、新たな部品が必要です。

オイルの量の点検



オイルの量を適切なレベルにしておくことは機械操作にとって大変重要です。オイルの量が適切でないと油圧部品に損傷を与えることがあります。点検担当者はオイルの量を毎日チェックすることにより、オイルの量に変化がある場合には油圧システムでの問題を見つけることができます。

1 作業台が完全に下がっているかどうか確認してください。機械側面のオイル量表示器を目で見て点検してください。

⊙ 結果：作動油量は最低と満タンのマークの間をさしているようにしてください。

オイルの仕様

オイルのタイプ	Dexron またはそれに相当するオイル
油圧タンクの容器	10 リットル
油圧システム（容器を含む）	13 リットル

安全確認

バッテリーの点検

機械の安全操作にはバッテリーが適切な状態になっていることが重要です。適切でない油圧レベル、あるいはケーブルまたは接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

⚠ 警告 感電の危険。熱くなっている回線やライブ回線に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。指輪、時計、その他の貴金属をすべて外してください。

⚠ 警告 人体への傷害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れないようにしてください。バッテリーの酸がこぼれた場合は重曹と水を使って中性にします。

注意 このテストはバッテリーの充電が終ってから行ってください。

1 保護服と保護用メガネを着用してください。

2 バッテリーケーブルが腐食していないか確認してください。

3 バッテリーの装着とケーブルの接続がきちんとなされているか確認してください。

4 バッテリー通気孔のキャップをとってください。

5 バッテリーの酸の量をチェックしてください。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を入れてください。このときにあふれないようにしてください。

6 バッテリー通気孔のキャップをつけてください。

定期安全点検

定期安全点検は、本装置の安全操作トレーニングを受け認定された担当者が本説明書の手順にしたがって行わなければなりません。

下記の安全点検は、認定された人が記録および保存し、４年間保管します。

３ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行ってください。

スケジュール

定期安全点検には４つのタイプがあり、スケジュールに従って、毎日、四半期ごと、１年ごと、２年ごとに行うものがあります。それぞれの定期点検の内容に合わせて、**安全点検表**と**安全点検レポート**は４つのセクション（A、B、C、D）に分かれています。定期安全点検のどの手順を行うか、次の表を参考にしてください。

点検	表またはチェックリスト
毎日もしくは８時間ごと	A
四半期に１回	A + B
１年に１回	A + B + C
２年に１回	A + B + C + D

安全点検レポート

安全点検レポートには、それぞれのタイプの定期安全点検のチェックリストが含まれます。

安全点検レポートをコピーして、各定期安全点検に利用してください。安全点検の書類はすべて４年間保存してください。

機能テスト



以下の場合を除いて操作は行わないでください：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。

1 危険な状態での使用を避けている。

2 常に操作前の点検を行っている。

3 使用する前に常に機能テストを行っている。

次のセクションに進む前に、機能テストをよく理解している。

4 作業場を点検している。

5 決められた用途にのみ機械を使用している。

原 則

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、段階的な指示にしたがって、すべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。誤作動が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づき行ってください。

修理が終了したら、オペレータは機械を使用する前に再び操作前の点検、続いて機能テストを行ってください。

機能テスト

1 障害物がなく、水平で安定している場所でテストを行ってください。

2 バッテリーパックが接続されているかどうか確認してください。

地上操作時

3 作業台と地上両方の赤い地上の非常停止ボタンを引いてオン位置にします。

4 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

非常停止のテスト

5 赤い地上非常停止ボタンを押してオフにします。

⊙ 結果：機能は動作しません。

6 赤い地上非常停止ボタンを引いてオンにします。

上昇下降機能テスト

7 上昇機能を作動します。

⊙ 結果：作業台があがります。

8 下降機能を作動します。

⊙ 結果：作業台が下がります。作業台が下がっているときには下降アラームが鳴ります。

手動降下テスト

9 上昇機能を作動し、作業台を約 0.6 メートル上げます。

10 機械の後方にある手動下降ハンドルを引きます。

⊙ 結果：作業台が下がります。下降アラームは鳴りません。

11 キー・スイッチを回して作業台操作に切り替えます。

作業台操作時

非常停止のテスト

12 赤い作業台非常停止ボタンを押してオフにします。

⊙ 結果：機能は何も作動しません。

ホーンのテスト（ついている場合）

13 赤い地上非常停止ボタンを引いてオンにします。

14 ホーンボタンを押します。

⊙ 結果：ホーンが鳴ります。

機能作動スイッチのテスト

15 コントロールハンドル上の機能作動スイッチを持たないでください。

16 コントロールハンドルを青い矢印の方向にゆっくりと動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かしてください。

⊙ 結果：機能は作動しません。

上昇下降機能のテスト

17 リフト/走行・セレクトスイッチをリフトの位置に動かします。

18 操作ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしてください。

19 操作ハンドルを青の矢印の方向へゆっくりと動かします。

⊙ 結果：作業台があがります。

20 操作ハンドルを離します。

⊙ 結果：作業台の上昇が止まります。

21 機能作動ボタンを押したままにします。操作ハンドルを黄色の矢印の方向へゆっくりと動かします。

⊙ 結果：作業台が下がります。作業台が下がっているときには下降アラームが鳴ります。

ステアリングのテスト

注記：ステアリングと走行機能テストを行っているときは、作業台上機械の端にあるステアリングに向かって立ってください。

22 リフト/走行・セレクトスイッチを走行の位置に動かします。

23 操作ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしてください。

24 操作ハンドルの先端にあるロッカースイッチを、操作パネルの青い三角の示す方向に押し下げてください。

⊙ 結果：ステアリング・ホイールが操作パネルの青い三角が示す方向に回ります。

25 ロッカースイッチを、操作パネルの黄色い三角の示す方向に押し下げてください。

⊙ 結果：ステアリング・ホイールが操作パネルの黄色い三角が示す方向に回ります。

走行ブレーキのテスト

26 操作ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしてください。

27 コントロールハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻してください。

⊙ 結果：機械が操作パネルの青い矢印の方向に動き、不意に止まります。

28 コントロールハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央まで戻してください。

⊙ 結果：機械が操作パネルの黄色い矢印の方向に動き、不意に止まります。

注記：機械が登れる傾斜面上であれば、ブレーキは機械を停止させることができます。

傾斜センサーのテスト

注記：このテストは地上で作業台操作で行ってください。作業台に立たないでください。

29 作業台を完全に下げます。

30 片側の２つのタイヤそれぞれの横に４×９㎝ のブロックもしくは同様の木材を置き、機械がその上にくるように動かします。

⊙ 結果：アラームが鳴ります。

31 機械を走行し、両方の木材を取り除きます。

注記：CEモデルでは、傾斜アラームが鳴っているときは、上昇機能は作動しません。

機能テスト

制限走行速度のテスト

32 リフト/走行・セレクトスイッチをリフトの位置に動かします。

33 機能作動ボタンを押したままにします。作業台を地上約 0.6 m まで上昇してください。

34 リフト/走行・セレクトスイッチを走行の位置に動かします。

35 機能作動ボタンを押したままにします。ゆっくりとコントロールハンドルをフル走行の位置に動かしてください。

⊙ 結果：作業台が上昇した状態での最大走行速度は 0.2m/秒を越えないでください。

作業台が上昇した状態で、走行速度が 0.2 m/秒を越えた場合、ただちに故障の貼り紙を付けてを使用を中止してください。

36 走行速度スイッチもしくは走行速度ボタンを、どちらかの走行速度表示ランプが消えるまで押してください。

37 機能作動ボタンを押したままにします。ゆっくりとコントロールハンドルをフル走行の位置に動かしてください。

⊙ 結果：作業台が上昇した状態での最大走行速度は約 10 cm/秒でなければなりません。

38 両方の走行速度表示ランプが消えるまで、再び走行速度スイッチもしくは走行速度ボタンを押してください。

39 機能作動ボタンを押したままにします。ゆっくりとコントロールハンドルをフル走行の位置に動かしてください。

⊙ 結果：作業台が上昇した状態での最大走行速度は約 6 cm/秒でなければなりません。

作業台リミットスイッチのテスト（ついている場合）

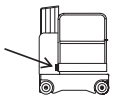
注記：このテストはオプションの作業台延長部がついている GR-15 モデルにのみ必要です。

注記：GR-15 には、作業台を伸長した状態で最高 3.6 m まで走行するものがあります。これらのモデルには、作業台後方、マストの横に、リミットスイッチがあります。このテストを行う前に、このリミットスイッチがついているかどうかを確認してください。

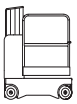
リミットスイッチがついているモデル：
作業台が約3.9 m 上昇している状態でこのテストを行ってください。

リミットスイッチがついていないモデル：
このテストは作業台を完全に下げた状態で行ってください。

40 リフト/走行・セレクトスイッチをリフトの位置に動かします。



41 作業台を完全に下げるか、もしくは作業台を約 3.9 m まで上昇させます。



42 作業台伸長解除ペダルを踏み、作業台を伸長します。

43 リフト/走行・セレクトスイッチを走行の位置に動かします。

44 ゆっくりとコントロールハンドルをフル走行の位置に動かしてください。

⊙ 結果：走行機能は作動**しません**。

作業場の点検



以下の場合を除いて操作は行わないでください：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。

1 危険な状態での使用を避けている。

2 常に操作前の点検を行っている。

3 操作前に常に機能点検を行っている。

4 作業場を点検している。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解している。

5 決められた用途にのみ機械を使用している。

原 則

作業場の点検によって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを決めることができます。作業場の点検は、作業場に機械を移動する前に行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を説明書で読み、理解して、機械の移動、セットアップ、運転時に気を配り危険を回避してください。

作業場の点検

次の危険な状態を把握して、回避してください。

- 積降し場、くぼみ
- でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- 頭上の障害物、高圧送電線
- 危険な場所
- 機械の重量を支えられない不適切な地面
- 風や天候の状態
- 必要関係者以外の存在
- 他に起こりうる安全でない状態

操作手順



以下の場合を除いて操作は行わないでください：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。

1 危険な状態での使用を避けている。

2 常に操作前の点検を行っている。

3 操作前に常に機能点検を行っている。

4 作業場を点検している。

5 決められた用途にのみ機械を使用している。

原 則

操作手順のセクションでは、それぞれの機械操作の特徴ごとに手順を説明しています。オペレータは安全規則やオペレータの安全マニュアルの指示に従うよう義務付けられています。

人や工具を空中の作業場まで上げる目的以外で機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け認定された担当者のみ機械を操作することが許されています。２人以上のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、安全規則やオペレータの安全・責務マニュアルの手順に従がわなければなりません。オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

非常停止

地上操作もしくは作業台操作で赤い非常停止ボタンを押してオフの位置にし、すべての機能を停止します。

非常停止ボタンが押されている状態で作動している機能は修理してください。

地上からの操作

1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤い非常停止ボタンを引いてボタンをオンの位置にします。

3 機械を操作する前にバッテリーパックが接続されているかどうか確認してください。

作業台を位置につける

1 操作パネルのマークに従って上下トグルスイッチを動かします。

走行およびステアリング機能は地上操作では操作できません。

作業台からの操作

1 キー・スイッチを回して作業台操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の赤い非常停止ボタンを引いてボタンをオンの位置にします。

3 機械を操作する前にバッテリーパックが接続されているかどうか確認してください。

作業台を位置につける

1 リフト/走行・セレクトスイッチをリフトの位置に動かします。

2 操作ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしてください。

3 操作パネルのマークに従ってコントロールハンドルを動かします。

ステアリング

1 リフト/走行・セレクトスイッチを走行の位置に動かします。

2 操作ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしてください。

3 ステアリングホイールを操作ハンドルの先端にあるロッカースイッチで回します。

走行

1 リフト/走行・セレクトスイッチを走行の位置に動かします。

2 操作ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしてください。

3 速度を上げる：操作ハンドルを中心の位置からゆっくり動かします。

速度を下げる：操作ハンドルを中心へ向かってゆっくり動かします。

停止する：操作ハンドルを中心の位置へ戻すか、機能作動スイッチを解除します。

作業台操作と作業台の色別された方向矢印で、機械が進む方向を確認してください。

作業台が上がった状態では走行スピードが制限されます。

走行速度を下げる

走行操作は、３つの違った走行速度モードで操作できます。作業台操作パネルの３つのライトすべてがついているとき、機械は標準（もっとも速い）走行速度モード状態です。ライトが１つついている場合は、機械は最も遅い走行速度モード状態です。

走行速度スイッチもしくは走行速度ボタンを押して、希望する走行速度を選んでください。

操作手順

作業台の伸長と格納 (ついている場合)

1 作業台伸長解除ペダルを踏みます。

2 作業台手すりを慎重に持って押し、作業台を伸長します。

3 作業台伸長解除ペダルを踏み、引いて作業台を格納します。

コントローラによる地上から操作

オペレータ、機械、固定されたものの間は安全な距離を保ってください。

コントローラを使用しているときは機械の進む方向に注意してください。

毎回使用後

1 固い水平な地面で、物の破片や人や車の往来のない、安全な格納場所を選んでください。

2 作業台を下げてください。

3 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用をさけるためキーを取り外してください。

4 輪止めをしてください。

5 バッテリーを充電します。

充電器もしくは変換機の操作説明 (ついている場合)

変換機は、外部 AC 電力が外された場合に作業台に電力を供給します。

変換機を使うには：

1 キー・スイッチを回して作業台操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤い非常停止ボタンを引いてボタンをオンの位置にします。

バッテリー充電器と作業台への外部電力が、キー・スイッチの位置にかかわらず作動します。



バッテリーと充電器の操作手順

必ず従うこと：

- ☑ 外部充電池またはブースターバッテリーを使用しないでください。
- ☑ よく換気された場所でバッテリーを充電してください。
- ☑ 充電器に表示されている適切な AC 入力電圧を使用してください。
- ☑ Genie が承認するバッテリーと充電器を使用してください。

乾式バッテリー液の注入と充電の手順

1 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー通気孔開口部のプラスチックシールを取り除きます。

2 それぞれのセルにプレートがかくれるのに十分な程度のバッテリー液（電解液）を入れてください。

バッテリー充電のサイクルが終了するまではいっぱいに入れないでください。入れすぎますと、充電中にバッテリー液があふれることがあります。バッテリーの酸がこぼれた場合は重曹と水を使って中性にします。

3 バッテリー通気孔のキャップをつけてください。

4 バッテリーを充電します。

5 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックしてください。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を入れてください。このときにあふれないようにしてください。

バッテリーの充電

1 バッテリーを充電する前にバッテリーが接続されていることを確認してください。

2 バッテリーコンパートメントを開けます。コンパートメントは、充電のすべてのサイクルが終了するまで開けておいてください。

3 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー液の量をチェックしてください。必要に応じてプレートがかくれる程度に蒸留水を入れてください。充電の前には入れすぎないでください。

4 バッテリー通気孔のキャップをつけてください。

5 充電器を接地した AC 回路に接続してください。

6 充電器をオンにしてください。

7 バッテリーの充電が終わると充電器がそれを表示します。

8 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックしてください。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を入れてください。このときにあふれないようにしてください。

輸送手順



必ず従うこと：

- ☑ クレーンやフォークリフトで機械を持ち上げるときは常識的な判断と計画をもって機械の動きをコントロールしてください。
- ☑ 輸送車両は水平な地面に駐車してください。
- ☑ 機械を載せているときは、輸送車両が動かないよう固定してください。
- ☑ 車両の容量、積載位置、チェーン、革帯が機械の重量に耐えうる十分なものであることを確認してください。仕様のセクションを参照してください。
- ☑ ブレーキを解除する場合は、機械を水平な地面に止めてあるか、もしくは固定していなければなりません。

輸送用トラックまたはトレーラーへの固定

輸送する場合は必ず前もって機械に輪止めをしてください。

シャーシの荷締め位置を使って輸送車両へ固定ください。

積載荷重量に対して余裕のあるチェーンや革帯を使用してください。

輸送の前にキースイッチをオフの位置に回し、キーを取り外してください。

ゆるんでいたり、固定されていない箇所がないかどうか点検してください。

ブレーキ解除操作（ついている場合）

1 機械が動かないよう輪止めをしてください。

2 シャーシの荷締め箇所の移動のためにウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認してください。

3 ブレーキ解除スイッチを引いて、ブレーキバルブを開けてください。

4 作業台操作パネルのリフト/走行・セレクトスイッチを走行の位置に動かします。

5 機能スイッチを押したままにし、コントロールハンドルを走行の位置に動かして、ブレーキを解除してください。

機械を載せたら：

1 機械が動かないよう輪止めをしてください。

2 ブレーキ解除スイッチを押して、ブレーキをリセットしてください。

床位置での積載

原 則

床位置での積載のセクションでは、機械による床面への２つの特有の圧力に関して記載しています。

注記：ここでの資料はおおよそのものであり、オプションによる構成の違いは組み入れていません。適切に安全を考慮して使用してください。

局部圧力（タイヤごと）

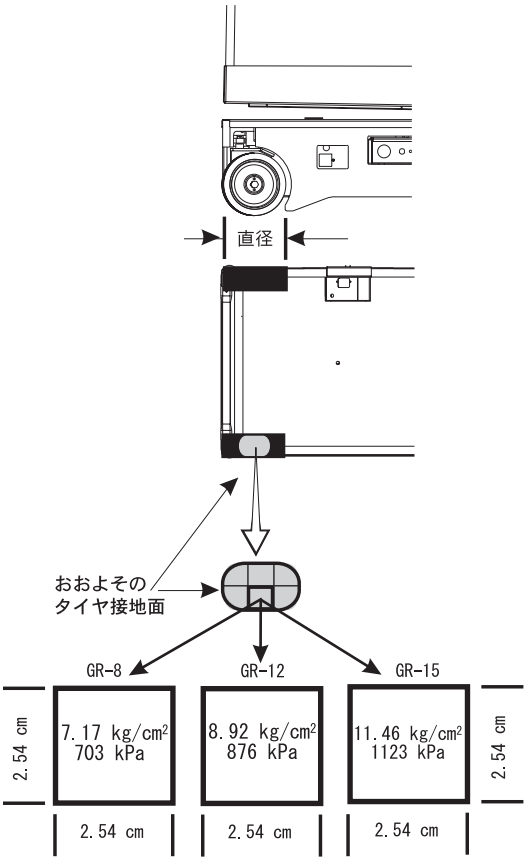
この測量値は、機械の下の床面に局部的に高い圧力がかかることによる損傷の防止に関連しています。

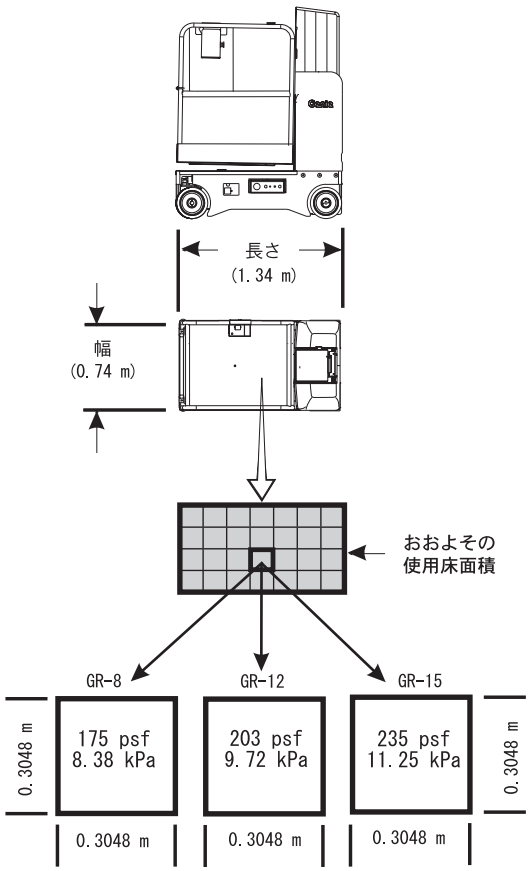
床荷重表

モデル	GR-8	GR-12	GR-15
GVW + 許容荷重	885 kg	975 kg	1134 kg
軸荷重　最大	821 kg	604 kg	665 kg
輪荷重最大	280 kg	348 kg	445 kg

車体使用面積当たりの圧力

この測量値は、梁で支えられた床面または表面上での機械の使用に関連しています。機械による車体使用面積当たりの圧力は、床面もしくは表面が支えることのできる範囲を越えてはなりません。





ステッカー

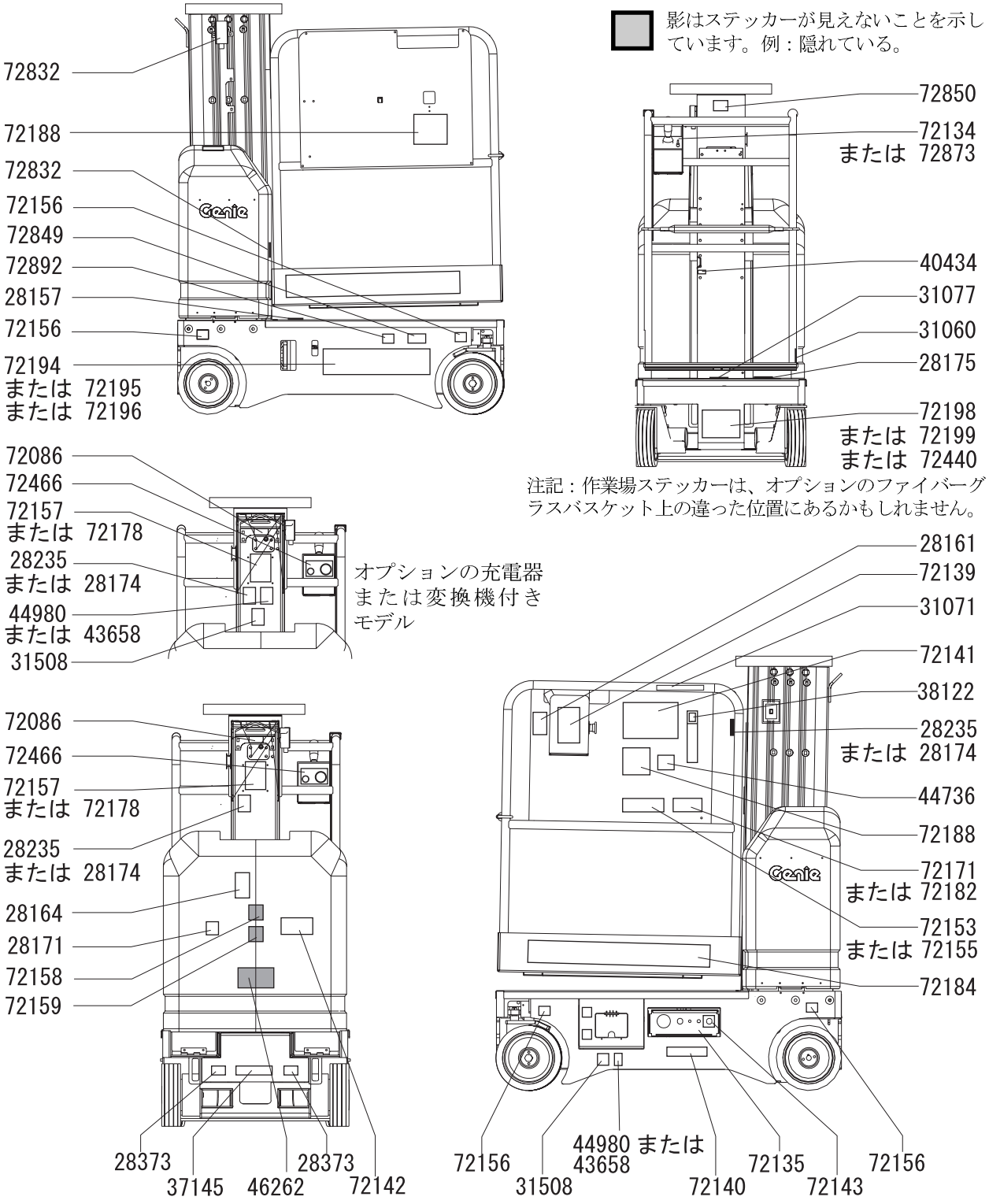
ステッカーの点検

次ページの絵を見て、ステッカーの文字が読める状態で所定の位置に貼ってあるかどうかを確認してください。

下記は数量と詳細の番号リストです。

品番	名称	数量
28157JA	ラベル – Dexron	1
28161JA	警告 – 手のケガ	2
28164JA	注意 – 危険資材	1
28171	ラベル – 禁煙	1
28174JA	ラベル – 作業台への電源 230V	2
28175JA	要注意 – コンパートメントへのアクセス	1
28235JA	ラベル – 作業台への電源 115V	2
28373JA	ラベル – フォークリフトポケット	2
31060JA	危険 – リミットスイッチは変えないでください。(GR-15 モデル、延長デッキ付)	1
31071JA	警告 – マニュアルを読むのを怠った	1
31077JA	要注意 – 落下の危険	1
31508JA	注意 – バッテリー充電器への電源	1
37145JA	ラベル – 手動下降	1
38122JA	ラベル – 取扱説明書保管場所	1
40434JA	ラベル – 荷締め用箇所	1
43658JA	ラベル – 充電器への電源 230V	1
44736JA	危険 – 傾斜アラーム	1
44980JA	ラベル – 充電器への電源 115V	1
46262JA	危険 – バッテリー/充電器の安全	1
72086JA	ラベル – リフティング　アイ	1
72134	作業台操作パネル（ジョイスティック コントローラー）	1
72135JA	地上操作パネル	1
72139JA	注意 – 操作手順 — 作業台	1
72140JA	注意 – 操作手順 — 地上	1
72141JA	危険 – 一般安全規則	1
72142JA	危険 – 感電の危険	1
72143JA	非常停止	2
72153JA	注意 – 最大積載重量 227 kg (GR-8/AGR-12)	1
72155JA	注意 – 最大積載重量 159 kg (GR-15)	1
72156JA	注意 – タイヤ仕様	4
72157	シリアルプレート、ANSI	1
72158JA	バッテリー接続図	1
72159JA	危険 – 転倒 （バッテリー）	1
72171JA	注意 – 最大側面圧力 100 lbs/445 N、ANSI/CSA	1
72178	シリアルプレート、CE	1
72182JA	注意 – 側面圧力と風速、CE	1
72184	装飾用 – Genie Runabout	2
72188JA	ラベル – 方向矢印	2
72194	装飾用 – Genie GR-8	1
72195	装飾用 – Genie GR-12	1
72196	装飾用 – Genie GR-15	1
72198	装飾用 – Genie GR-8（前面）	1
72199	装飾用 – Genie GR-12（前面）	1
72440	装飾用 – Genie GR-15（前面）	1
72466	作業台操作パネル（緊急停止ボタン）	1
72832JA	危険 – リミットスイッチは変えないでください。(GR-15 モデル、延長デッキ付に1つ付属)	1
72849JA	危険 – ブレーキ解除の手順	1
72850JA	注意 – 作業トレー容量	1
72873JA	作業台操作パネル（ジョイスティック コントローラー）	1
72892JA	ラベル – ブレーキ解除スイッチ	1

ステッカー


影はステッカーが見えないことを示しています。例：隠れている。
72832
72188
72832
72156
72849
72892
28157
72156
72194
または 72195
または 72196
72850
72134
または 72873
40434
31077
31060
28175
72198
または 72199
または 72440
注記：作業場ステッカーは、オプションのファイバーグラスバスケット上の違った位置にあるかもしれません。
72086
72466
72157
または 72178
28235
または 28174
44980
または 43658
31508
オプションの充電器または変換機付きモデル
28161
72139
31071
72141
38122
28235
または 28174
44736
72188
72171
または 72182
72153
または 72155
72184
72086
72466
72157
または 72178
28235
または 28174
28164
28171
72158
72159
28373
37145
46262
28373
72142
72156
44980 または 43658
31508
72140
72135
72143
72156

仕様

モデル	GR-8	GR-12	GR-15
高さ、作業中 最大	4.3 m	5.4 m	6.4 m
高さ、作業台 最大	2.5 m	3.6 m	4.6 m
高さ、収納時 最大 作業台トレー含む ANSI、CSA	1.73 m	1.73 m	1.73 m
高さ、収納時 最大 作業台トレー含む - CE	1.84 m	1.84 m	1.84 m
幅	75 cm	75 cm	75 cm
長さ、収納時	1.35 m	1.35 m	1.35m
奥行き、作業台伸長時	1.85 m	1.85 m	1.85 m
最大積載、容量	227 kg	227 kg	159 kg
旋回半径（内側）	15 cm	15 cm	15 cm
旋回半径（外側）	1.57 m	1.57 m	1.57 m
重量	658 kg	748 kg	975 kg
登坂力	25%	25%	25%
電源	バッテリー ４、6 V 225 AH		
操作	比例制御		
作業台寸法（長さ×幅）	75 × 94 cm		
作業台寸法、作業台伸長時（長さ×幅）	1.45 m		
作業台 AC コンセント	標準		

タイヤサイズ	25.4 × 7.6 × 2.5 cm
標準充電器	AC 120 V/60 Hz、25 amp、DC 24 V
オプション 充電器／変換機	AC 120 V/60 Hz、25 amp、DC 24 V 1000 W
騒音 通常作業のワークステーションでの最大音量（A－重量）	70 dB

走行速度 － すべてのモデル	
収納時、最大	4.0 km/時
作業台伸長時、最大	0.8 km/時 12.5 m / 55秒

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。製品の仕様は予告なく変更することがあります。